

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年10月23日
事業者名:	株式会社熊谷組 岐阜営業所

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	カーボンニュートラルの達成(CO2排出量削減活動) 再生可能エネルギー事業の推進強化 ゼロミッションの達成(混合廃棄物の削減活動) 木造建築事業の強化(中大規模木造建築事業の取組み・受注拡大) 環境配慮型技術の開発(脱炭素に向けた研究強化、環境配慮型建築への取組み) ネイチャーポジティブの実現(生態系の回復に関する事業、品質環境マネジメントシステムの運用・改善)	⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさを守ろう	2024年度実績 CO2排出量4.2%削減(スコープ1+2 2019年度比) 再生可能エネルギー事業の実施・取組み件数：国内 実施3件、取組み5件/海外1件 混合廃棄物排出率1.7% 木造建築事業の強化：国内受注5件/海外出資1件 脱炭素に向けた技術開発取組み11件/環境配慮型建築提案7件 脱炭素燃料開発・販売事業の拠点整備1件/施工中の重大な環境事故0件	指標	CO2排出量削減率、再エネ事業の実施・取組件数、総混合廃棄物の排出率、中大規模木造建築の件数、脱炭素に向けた技術開発取組件数、環境配慮型建築提案件数、脱炭素燃料開発販売事業件数、施工中の環境事故件数
				目標	CO2排出量削減 2030年目標：スコープ1+2 42%削減、スコープ3 25%削減(2020年比) 2050年目標：カーボンニュートラル 再エネ事業の実施・取組：国内10件以上/海外4件以上(2026年度) 総混合廃棄物：排出率2%以下(2026年度) など
社会	女性管理職比率の向上及び女性の技術系職員の増加	⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	2024年度(2025年3月末時点) 女性管理職比率 5.6%(新任女性管理職比率：32.1%) 女性技術系職員 166名(全技術系社員に対する女性比率：8.1%)	指標	女性管理職比率および女性技術系社員割合の向上
				目標	2026年3月までに新任女性管理職比率を新任管理職の7%以上とする(2026年4月以降の目標については現在策定中、2028年3月公表予定)
経済	① ICTの標準化による現場管理の効率化、基幹システムの刷新、安全管理水準の向上、品質マネジメントシステムの運用と改善 ② 社会課題の解決	③すべての人に健康と福祉を、⑧働きがいも経済成長も、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	① ICTの標準化による現場環境の効率化、建設WA0(基幹システム)の導入による業務の効率化 2024年度実績100% 時間外労働の減少値 2024年度実績前年比全社平均3.3時間 ② 社会貢献活動「熊谷組スマイルプロジェクト」 2024年度実績 全国147件の活動 延べ2,312名の社員が参加、社会貢献費として2,797万円を拠出	指標	① 新規現場に対する導入率 ② 参加者数(延べ人数)
				目標	① 各年度導入率100% ② 各年度の参加者数の増加
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> SDGsの達成に向けた重点的な取組が社員に共有されており、かつ達成する為の仕組みが組織内に構築されている。 1. 定期的な研修と情報共有 社員に対してSDGsの重要性や具体的な取組について研修を定期的に行い、全社員が理解し、参加できるような環境を整えています。社内報やイントラネットを通じて、SDGsに関連する活動や進捗状況を共有しています。 2. 目標設定と評価制度の導入 各部門やプロジェクトおよび個人の目標設定において、SDGsに関連する具体的な目標設定し、その達成度を定期的に評価する仕組みを導入。これにより、各部門がSDGsに向けた取組を意識し、責任をもって行動することが促されています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 毎年、総合報告書を発行している。HP上から印刷・ダウンロードできる https://www.kumagaigumi.co.jp/sustainability/integratedreport/			